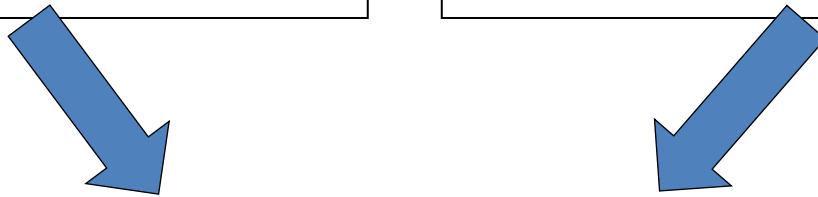


# 事業所自己評価シート

令和 5 年度

<b>職員による自己評価</b>	<b>保護者による評価</b>
<p>A環境面 バリアフリーではないが特に不自由していない。 子供たちの成長と共にスペースの確保</p> <p>B児童への支援内容 学習と曜日別プログラムは保護者の方から評判が良い</p> <p>C関係機関との連携 療育センターは情報を共有している。 送迎時の対応を再確認している。</p> <p>D保護者への説明責任・信頼関係 契約時や日々の連絡帳、面談などで確認、様子などを話している。</p> <p>E非常対応 避難訓練を日々行なうことが出来ている。</p>	<p>A環境面 子供が成長しているせいか少し狭く感じる。</p> <p>B児童への支援内容 活動内容が固定化されず満足している。 学習面でのフォローが心強い。</p> <p>C事業所からの情報発信 連絡帳で日々の様子を教えてくれる。</p> <p>D非常対応 避難訓練の実施状況が曖昧である。</p>



**【共通点】**  
連絡帳等でしっかりと連携が取れている。

## 事業所内の分析

**【相違点】**  
避難訓練の実施が曖昧である。  
保護者側から指導訓練室が狭いのではないかという指摘を受ける。

## 分析・検討してみて…

### 事業所の強み

毎日の通所でも、プログラムが様々なので、長い時間居ても楽しむことが出来る。  
日々の学習時間が子供に苦痛なく、でも楽しく行なうことが出来るような教室作りをしている。  
親との連携がしっかりとれる。  
指導員が子供目線になって一緒に過ごすことが出来る。

### 事業所の改善点

避難訓練の実施状況の周知がなされていない。  
ビルが古いため、バリアフリー等の気遣いがないので何かいい方法はないか。  
より良い療育を何かすることは出来ないか。

### 事業所の改善への取り組み

避難訓練等を実施する際には事前事後報告を徹底する。又、曜日に関してもいろいろな曜日で実施できるようにする。  
衛生面に気を付け安心して過ごせる場にする。  
より良い療育を行えるよう、指導員研修を毎月行い、社外の研修にも積極的に参加するようにする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～